

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 福岡県筑後市
本事業の担当部局名 総務部企画調整課

事業メニュー		結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業					
区分		重点メニュー					
関連事業メニュー		3.2.2 地域全体で結婚・子育てを応援する気運醸成					
個別事業名		KIDSなフェス				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度 令和1年度
総事業費(A)(円)		296,220		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	20,000		差引額(A-B)(円) 276,220
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		296,220					
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	25,000	0	20,000	5,700	92,200	0
	対象経費支出予定額	25,000	0	20,000	5,700	92,200	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	146,000	7,320	0	0	0	296,220
	対象経費支出予定額	146,000	7,320	0	0	0	296,220
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 筑後市はこれまで「筑後市総合戦略(第1期:H27、第2期:H31)」に基づき、「安心して子どもを産み、育てられるまちをつくる」を基本目標に、少子化対策に総合的に取り組んできた。 本市は合計特殊出生率が1.62(R4)と全国や福岡県の平均と比較すると高いものの、生涯未婚率は16%(H27)から18%(R2)と増大しており、未婚化・晩婚化が進行している。 総人口に与えてきた自然増減と社会増減の影響を見ても、R5年には自然減は232人となり、前年の130人を大きく上回る結果となっている。 <本個別事業の位置付け> 国が定めた「家族の日」にイベントを実施することで、多様な家庭や家族の形態があることを踏まえつつ、家族や地域の大切さ、こどもを社会全体で温かく包み込む大切さ等について理解促進を図るもの。				
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	概要	「家族の日」(11月第3日曜日)に市内の社会教育施設を貸し切り、家族との時間を感じるための様々なブースを設置する。 ブースでの企画内容については、民間の保育施設や九州大谷大学の学生などの外部団体と協議し、来訪者の関心を引く内容へと再編していく。 なお、様々な世代へ本事業を周知するため、市HP、広報誌、市公式SNSのほか県が運営する結婚・子育て応援ポータルサイト等の広報手段を活用するとともに、本市が近隣市町と連携して運営している八女・筑後結婚サポートセンター会員にも周知を行う。また、県が実施する出会い・結婚応援事業において、出会い応援団体に登録している本市内の企業・団体と連携し、当該企業・団体の従業員や利用者、近隣住民への情報発信を行う。				
	2	実施内容	イベント概要案:令和7年11月16日(日) ①家族で写真撮影会…市内で活動するプロのカメラマンに委託し、記念撮影をすることで移りゆく家族の「今」を記録する。例年多くの参加希望があるため撮影に用いるブースを増設し、来場のきっかけにつなげる。回数:1回 定員:30組100名程度 ②婚活イベント…八女・筑後結婚サポートセンターと連携し、将来家族になる方との出会いの場となる婚活イベントを実施。回数:1回 定員:男女各10名 計20名 ③お料理大作戦…食材を無駄にしないで食べきる料理に親子で挑戦。食品ロス削減を呼び掛ける。回数:1回 定員:10組20名程度 ④布芝居「みんなのちきゅうをまもるんぱ!」…九州電力監修の布芝居・歌を通じて、家庭での日頃の生活を見直すきっかけとする。回数:2回 定員:なし(参考:令和6年度 参加者31名) ⑤イラストプレゼント…子どもの好き嫌いをなくすための取り組みとしてイラストレーターに依頼し、子どもが苦手な食べ物を模したキャラクターの絵をプレゼントする。回数:1回 定員:なし(参考:令和6年度 参加者117名) ⑥工作・ゲームコーナー…秋ならではのどんぐりや松ぼっくりを用いた工作やゲームコーナーや子どもの手形を使ったアート体験コーナーを設けて、親子でのふれあいの機会を設けることを狙いとする。会場には市内小規模保育所の紹介コーナーを設け、常駐する職員が参加者の保育園選びの相談に応じる。回数:1回 定員:なし(参考:令和6年度 参加者92名)				

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

- ・委託料に関して、物価高騰により予算の範囲内で例年通りのサービスを提供できなかった。
- ・職員の人員不足により、企画数を前回より減らすこととなった。
- ・上記2点の理由により、毎年来ている参加者の満足度が低下した。

→今後も市の財政状況は厳しくなると見込まれるため、単費で実施していた婚活関連イベント等にも地域少子化重点推進交付金を活用し、財源の範囲内で満足感を高める工夫をする。他課の職員にも協力を要請し、イベント規模の縮小を避ける。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率			1.81 (令和6年)	1.62 (令和4年)
	若年層有配偶者率		%	50.5 (令和6年)	50.3 (令和5年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.62 (令和4年)	
	婚姻件数		件	200 (令和4年)	
	婚姻率			4.34(令和4年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	連携団体数	団体	20	40 (令和6年度)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	---	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	100	91.7 (令和6年度)
	④	来場者数	人	250	317 (令和6年度)
	⑤	「家族の日」の認知度	%	100	83 (令和6年度)
	⑥				
	⑦				
	⑧				